

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ブルー スコーピオン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ブルー スコーピオン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

**比較対照ボール：レッド スコーピオン**

フレアーの幅  インチ

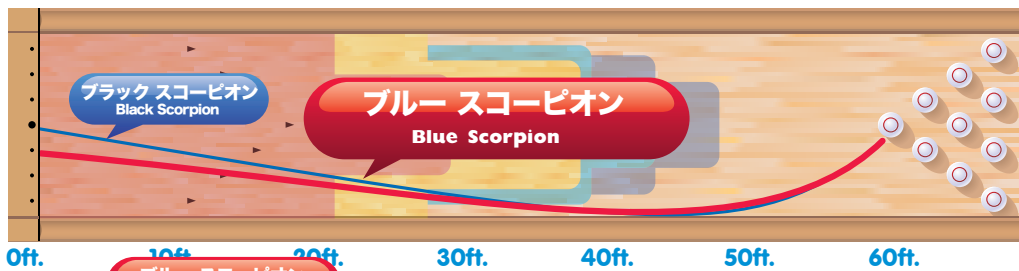
PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

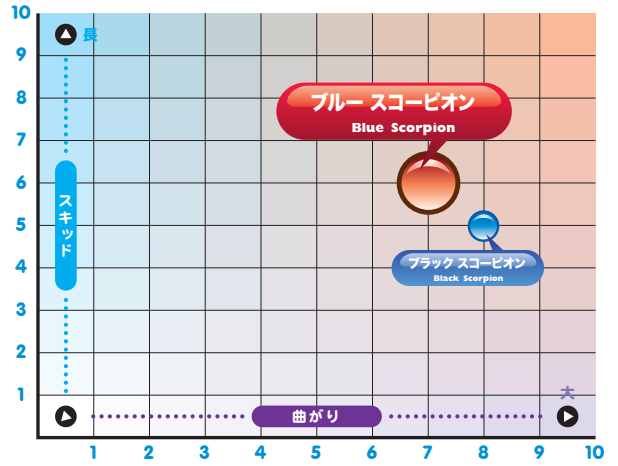
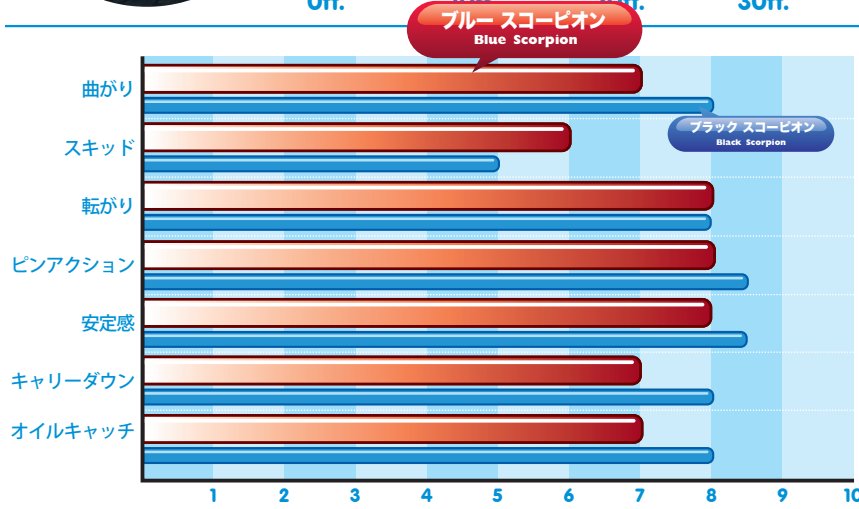
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

走りのREDとキャッチのBLACK。その開発コンセプト通りレッドスコーピオンはミディアムコンディションで走りを求める、特に男性の方に好まれ、ブラックスコーピオンは手前からのキャッチを求める、特に女子のプロボウラーに支持されました。今回我々が新しいスコーピオンに求めたものは、REDとBLACK双方の長所でもある”スキッド”と”曲がり”をバランス良く確保し、限られたステージではなく、使えるコンディションの幅を持たせること。

このブルースコーピオンの開発コンセプトは「万能のBLUE」です。

投球した感じを数値に表すと、曲がりかレッド6、ブルー7、ブラック8。スキッドレベルはレッド7、ブルー6、ブラック5になり、数値レベルにおいてほぼレッドとブラックの間になりますが、実際に投げ比べると数値以上にバランスの取れたスキッドとキャッチ、曲がりを感じて頂けると思います。スキッドを確保しながらも弾かれるようなオイルに対しての弱さはなく、途中で噛み終わる感じも見受けられません。レッドでもなくブラックでも感じられなかった柔らかく切れるイメージのリアクションは高いレベルで扱い易さとパフォーマンスを実現させ、幅広いコンディションへの対応を可能にしています。

この性能こそが我々がブルースコーピオンに求めたものであり、「万能のBLUE」と表現できる証なのです。

「走って欲しいけれどもキャッチも欲しい」また「キレルボールでも扱い易いのが欲しい」というボールをお探しの方にはこのボールを試す価値はあると思います。多くのボールを持つ中でもコンディションを読み取る基準とされるボールは必ず一つは持ちたいもの。「万能のBLUE」は貴方にとって最高のパートナーになることでしょう。

### 特記事項

**走りのRED、キャッチのBLACKに続く第3弾は「万能のBLUE」。**  
 ちょうど中間に設定された性能で万能にコンディションに対応でき、柔らかく扱い易い切れるイメージを持って頂けるでしょう。